


3階ご利用者様の褥瘡改善と予防について

3階 渡辺



①褥瘡が出来てしまった原因
発生率について

褥瘡の原因

圧迫・摩擦ずれ・湿潤によって起こる。

圧迫... 皮膚の同じ部分への圧迫が持続すること。

摩擦ずれ... 皮膚とベットシーツなどの接触面が擦れ合うこと。

湿潤... 排尿等が長時間濡れた状態になり皮膚がふやけること。

褥瘡の原因

○皮膚の不衛生によって起こる。

➡尿や便が長時間皮膚に付着することで湿潤、炎症が起こり皮ムケしやすい状態となる。菌が増殖し傷口が広がり、治るのに時間が掛かる。

○栄養不足によって起こる。

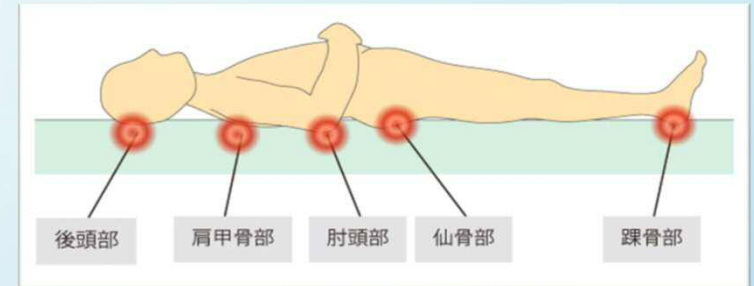
➡十分な栄養が摂取出来ない状態が続くと皮膚の弾力性が低下し、外部からの刺激に弱くなる。修復、自浄作用も弱まり褥瘡が広がっていく。

園全体の発生率について

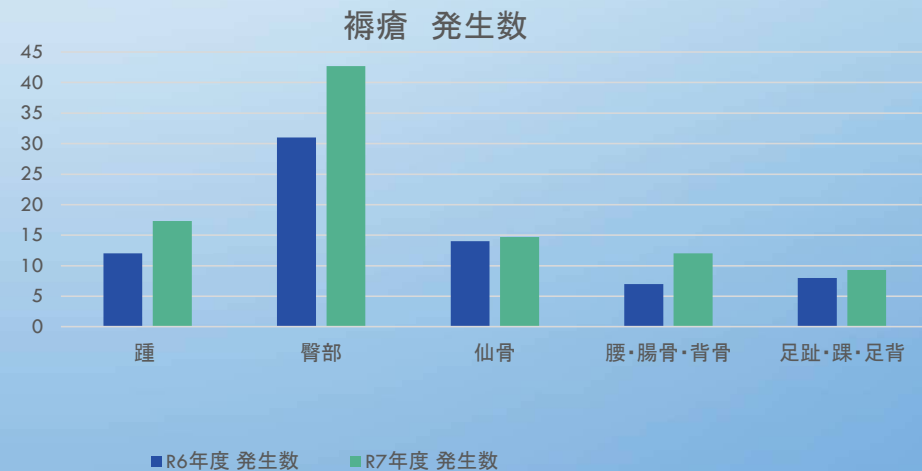
・褥瘡が起こりやすい部位とは？

→ **上半身**・・・頭、肩、肩甲骨、ひじに起こりやすい。

→ **下半身**・・・腸骨、仙骨部、踝・踵に起こりやすい。



褥瘡発生数		R6年度	R7年度
踵		12	17.3
臀部		31	42.7
仙骨		14	14.7
腰・腸骨・背骨		7	12
足趾・踝・足背		8	9.3



三階での発生率について


三階では...(事例対象利用者)

臀部 3名	仙骨部2名
踵、踝2名	腸骨1名

◎3階ではご利用者様のほとんどの方が下半身に褥瘡が出来ている。

上半身の予防はマットレスの変更、背抜きグローブの活用を行っている。



The background is a light blue gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across the surface. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance. The overall tone is clean and fresh.

②褥瘡が出来てしまった方の 対応方法について

N様 原因と褥瘡の対応方法

・左外踝に褥瘡

・左、右腸骨に褥瘡

○原因

- ・左側臥位で臥床、壁側を自分では向く様子が無い。
- ・夜間ポータブルトイレには3～4回程行くが体動がほとんどない為、出来てしまった。
- ・ベッドを動かし反対の右側臥位になったが、今度は右腸骨に出来てしまった。

○対応方法

エアマットレスに変更し、ムートンを着用。圧がかからないようにする。腸骨に圧がかからないよう、両ひざ下にピローをあてる。

現在は褥瘡も治ってムートンで予防継続しています。
職員が4時間置きに体交を行っています。



T様 原因と褥瘡の対応方法

・仙骨部に褥瘡

○原因

- ・臥床時間が増え、仰臥位の時間も増えた。
- ・湿潤によって出来る事が多い。

○対応方法

ポジショニングの見直し 右、左側臥位対応。
仙骨の為、座位時間をなるべく減らす。

時間	仰位方向
9:00	左側臥位
13:00	右側臥位
18:00	左側臥位
23:00	右側臥位
4:00	左側臥位



S様 原因と褥瘡の対応方法

・右踵、踝に褥瘡

○原因

- ・ADL低下により動きが少なくなった。
- ・寝姿勢時の動きが減った。

○対応方法

ポジショニングの見直し 右、左側臥位対応。
座位時間をなるべく減らし午後は臥床する時間を作る。

時間	仰位方向
9:00	左側臥位
13:00	右側臥位
18:00	左側臥位
23:00	右側臥位
4:00	左側臥位



Y様 原因と褥瘡の対応方法

・仙骨部、右臀部に皮ムケ

○原因 便座へ臀部が当たりこすれて出来てしまった。

○対応方法

トイレ誘導時は便座にカバーを付け擦れないようにする。午後は臥床対応。

ポジショニング実施。エアークッションに交換。



時間	仰位方向
9:00	左側臥位
13:00	右側臥位
18:00	左側臥位
23:00	仰臥位
4:00	右側臥位



エアマットレスへの変更

エアマットレス...空気圧で体圧を分散し、褥瘡(床ずれ)の予防や介護者の負担軽減を目的としています。

☆メリットについて

- ・体圧分散効果が高い
- ・個々の状態に合わせて調節可能
- ・体位変換が自動のタイプがある

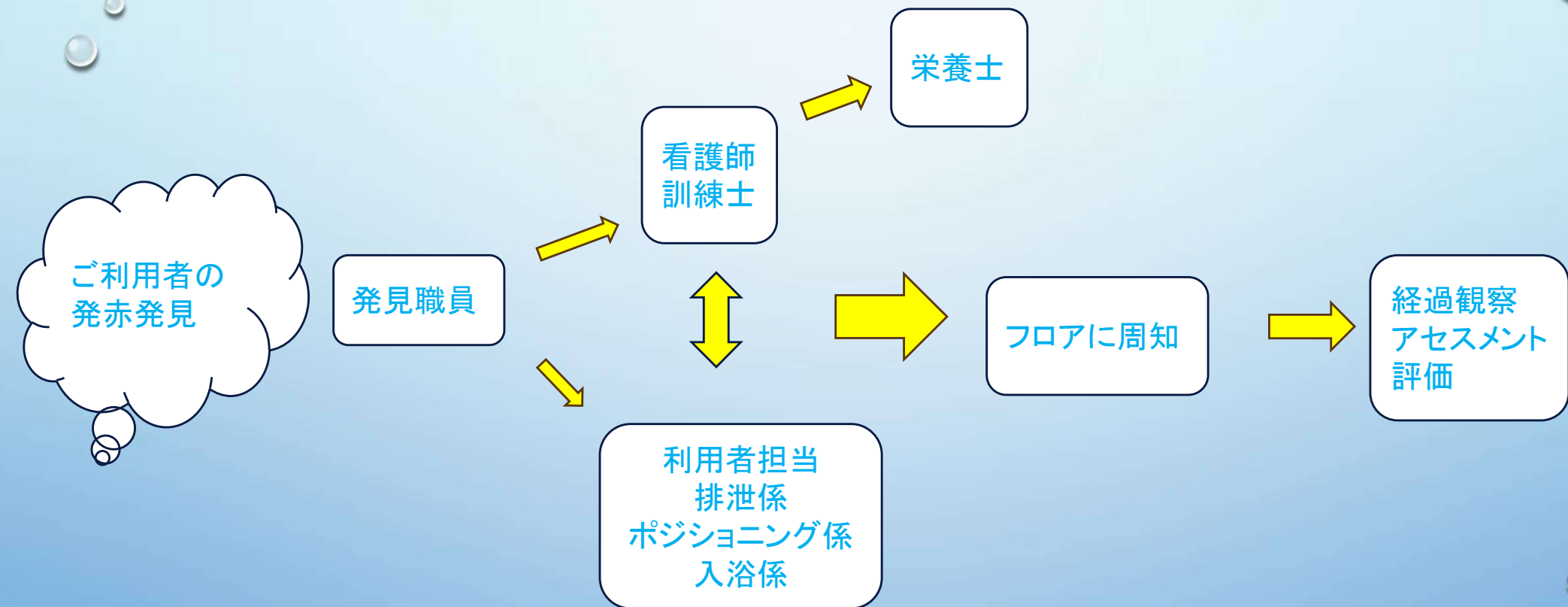
★デメリットについて

- ・動作のしにくさ
- ・電源が必要
- ・価格が高い

多職種連携について



3階の褥瘡予防に対する連携



総括 褥瘡を作らない為には？

寝姿勢、座位姿勢を整える
状態を観察し臥床時間を設ける

他職種への相談

栄養状態の確認

体調不良時はいち早く対応

ご清聴ありがとうございました。

